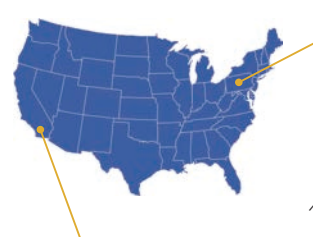




メーカーの「いま」をお伝えする企画「メーカーだより」。第22回は、唾液中のバイオマーカー研究のエキスパートである Salimetrics 社をご紹介します。

## Salimetrics 社のはじまり

Salimetrics 社は、1990年代にペンシルバニア州立大学の Douglas A. Granger 博士（現・カリフォルニア大学アーバイン校 IISBR 所長）の研究室から始まりました。当時、唾液中の cortisol 研究が大きな注目を集めていました。しかし、測定法は標準化されておらず、唾液試料用に最適化されていなかったため、研究者間のデータを比較することが困難でした。そこで、唾液試料を用いた研究に必要な技術を提供すべく、1998年に Salimetrics 社が設立されました。設立同年に発売した Salivary Cortisol Assay Kit は、唾液科学研究のさきがけとなりました。唾液科学研究は cortisol のようなホルモン評価が中心でしたが、この20年間で、環境化学物質の暴露やメタボロミクス、口腔マイクロバイオーム、炎症といった分野にも広がり、知見の幅が飛躍的に増加しました。現在、Salimetrics 社の製造施設はペンシルバニア州立大学の関連施設内にあり、本社および研究技術センターは2013年にカリフォルニア州カールスバッドに移転しました。



ペンシルバニア州ステートカレッジ



カリフォルニア州カールスバッド

Salimetrics 社（米国）の拠点

## これまでとこれから

Salimetrics 社は、投資家からの支援に頼らず一歩一歩着実に成長してきました。近年は免疫アッセイキットや研究者向けの分析受託サービスだけでなく、医療従事者や患者のニーズに応える臨床用途／応用のラインナップも拡大しています。さらに、これまで数多くの論文研究をサポートしてきており、Dr. Taylor と創業者である Dr. Granger による学術書「Salivary Bioscience : Foundations of Interdisciplinary Saliva Research and Applications」も2020年に出版しています。Salimetrics 社では同社の製品を使った研究により、人々の生活がよりよく変わってほしいと考えており、次世代の唾液バイオサイエンスのベストパートナーとなるために、より一層の努力を続けています。

## Salimetrics 社の製品ラインナップ

### 唾液試料採取用器具

採取方法や年齢に応じた製品を用意しています。



Web ページ番号

877



### 唾液中バイオマーカー測定用 ELISA キット

ステロイドホルモン、分泌型 IgA、混入した血液成分などを測定できます。



Web ページ番号

710



### 受託サービス

唾液試料中のバイオマーカー、オキシトシンの測定や DNA 解析を行います。



Web ページ番号

4394



フナコシ公式 YouTube チャンネルでまとめ動画が視聴できます！

>>[www.youtube.com/watch?v=tQh9eLj6QMg](https://www.youtube.com/watch?v=tQh9eLj6QMg)